


学校施設の建替事業（汐見台小学校）

公共事業再評価

- 
- I 事業の目的・概要
 - II 事業の必要性
 - III 事業の進捗状況
 - IV 事業課題・進捗見込
 - V コスト縮減項目 等
 - VI 対応方針

I 事業の目的・概要

1 事業目的

汐見台小学校の校舎等が老朽化しているため、現地に新校舎棟を整備し、老朽化対策及び教育環境の改善を図ります。

建設(増築)年度	昭和40年(1965年)～平成20年(2008年)
最古の棟の築年数	51年
屋内運動場築年数	48年
平均築年数	46.8年

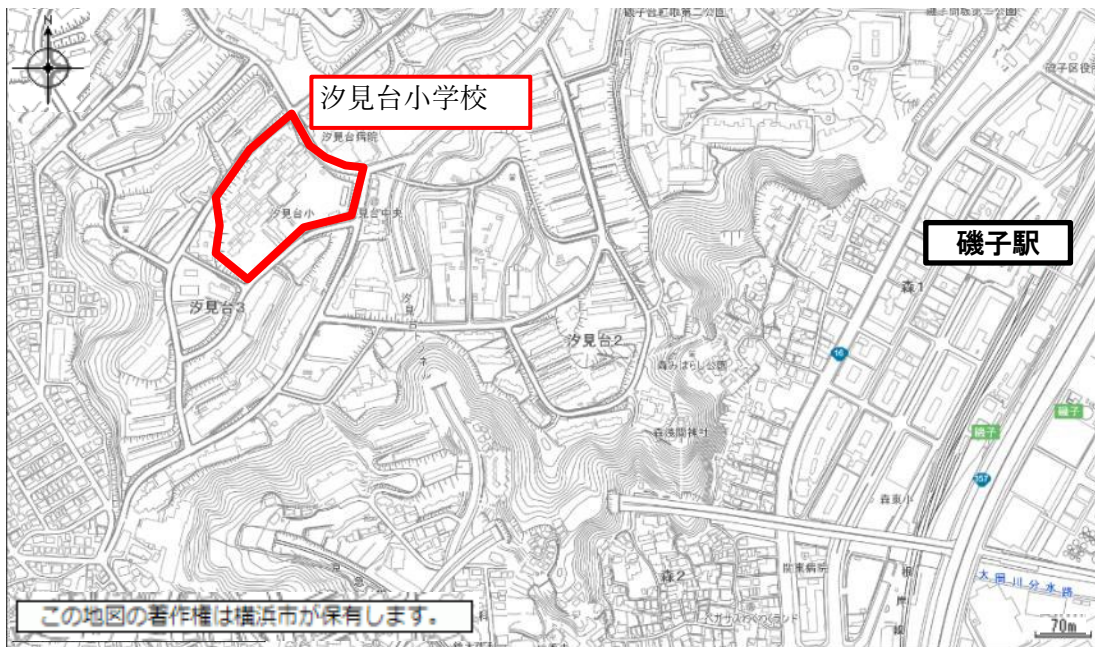
市内小中学校のうち、6番目に古い

I 事業の目的・概要

2 事業概要

2-1 所在地

横浜市磯子区汐見台3丁目6番



案内図

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-2 整備内容

単位:室

主な室		整備前	計画	
			事前評価時	整備後
教室	普通教室	30	24	22(21)
	個別支援教室	2	2	2(5)
	特別教室	5	7	7(6)
	多目的室	1	4	4(4)
面積		約7,500㎡	約9,400㎡	約8,700㎡

()は、供用時の実数

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-3 児童・学級推計

(事前評価時:平成29年5月1日時点)

年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
児童数	787	816	835	843	818	811	808
学級数	24	25	26	25	24	24	24

整備教室確定年次(R3)までの児童・学級数と同年次の児童・学級数推計
(令和3年5月1日時点)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	787	793	785	794	760	735	727	670	634
学級数	24	25	25	24	24	23	23	22	22

児童・学級数推計(一般学級のみ)(令和5年5月1日時点)

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
児童数	704	647	613	583	528	501	472
学級数	21	20	20	19	17	17	17

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-4 事業スケジュール

事前評価時(平成30年度)	再評価(令和5年度)
H29～H32 : 基本構想、基本・実施設計、仮設校舎設置	H29～R3 : 基本・実施設計 R1～R2 : 仮設校舎設置
H32～H35 : 既存校舎解体工事等、新築工事	R2～R3 : 既存校舎解体工事 R3～R5 : 新築工事
H35～ : 供用開始(校舎、プール)、仮設校舎解体工事、校庭整備	R5～R7 : 実施設計、校舎棟供用開始、プール工事、校庭整備 R7～ : 全面供用開始

2 事業概要

I 事業の目的・概要

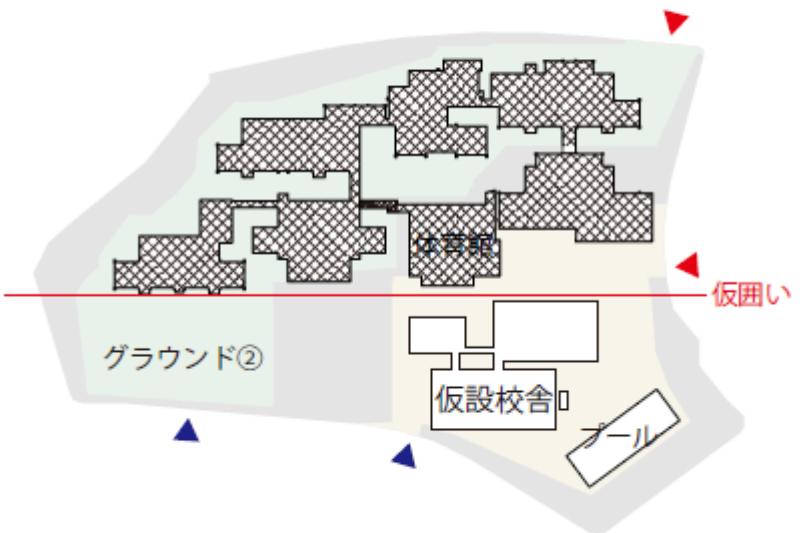
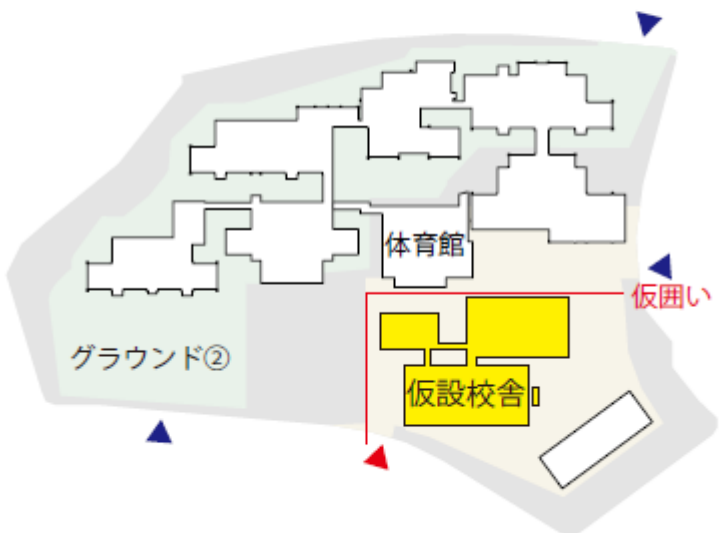
2-5 工事工程

STEP1 仮設校舎建設 (R1~R2)

STEP2 旧校舎解体 (R2~R3)

・仮設校舎の建設

・旧校舎の解体



2 事業概要

I 事業の目的・概要

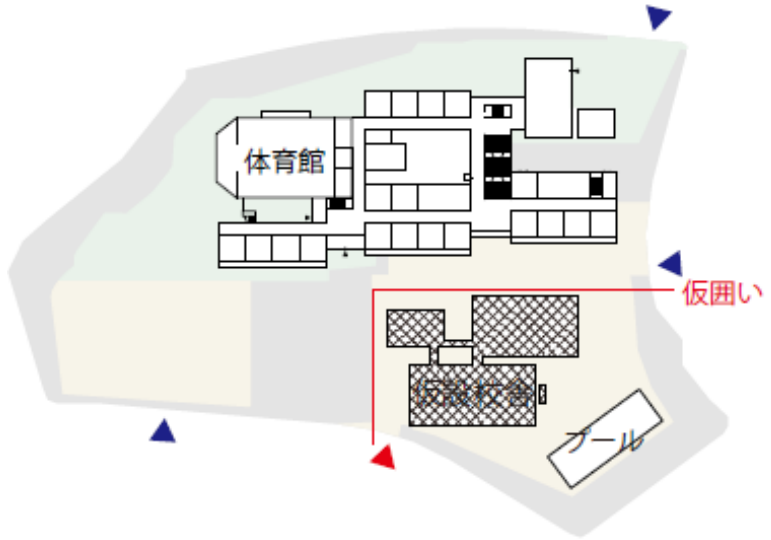
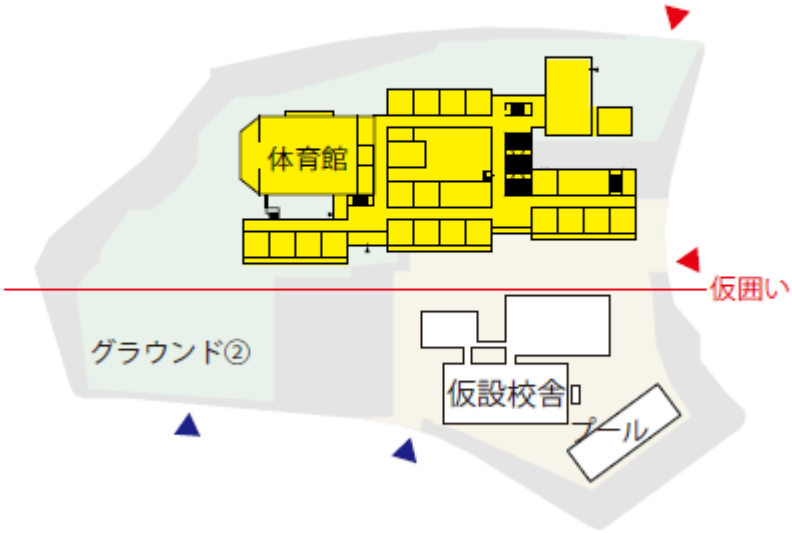
2-5 工事工程

STEP3 新校舎建設 (R3~R5)

- ・新校舎の建設
- ・プール、付帯施設の解体、新設は仮設校舎解体後に実施

STEP4 仮設校舎解体 (R5)

- ・仮設校舎の解体



2 事業概要

I 事業の目的・概要

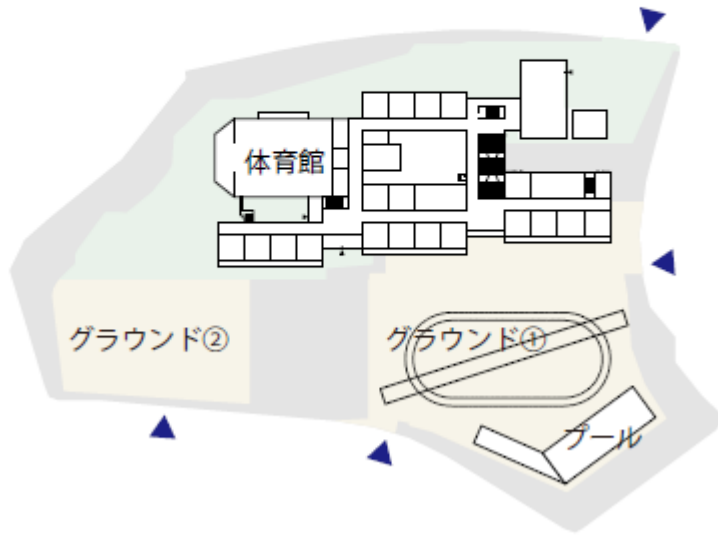
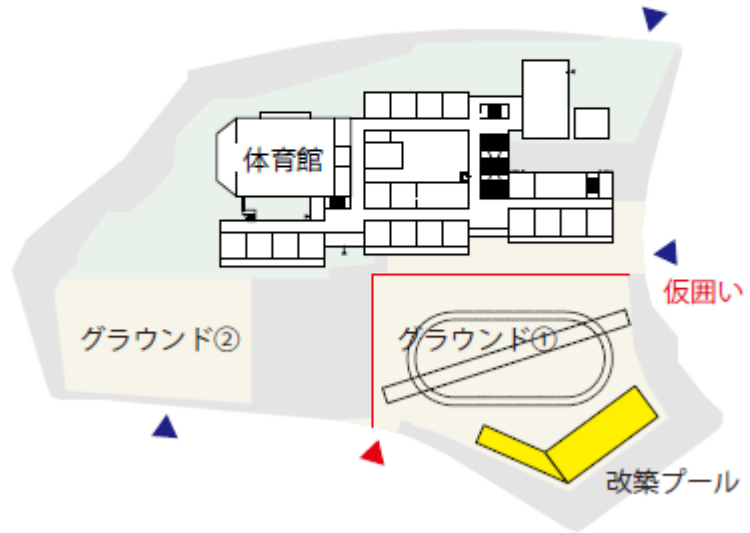
2-5 工事工程

STEP5 校庭整備・プール改築 (R5~R6)

- ・校庭整備
- ・プール改築

STEP6 校庭整備 (R7)

- ・建替え完了



2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-6 整備内容

学校名: 汐見台小学校

種別	整備前		H29整備水準(小学校24CR)		H30事前評価時		R2整備水準(小学校22CR)		R5整備後		H30事前評価時とR5整備後の増減		R5供用開始後		備考			
	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)	室名	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)	室名	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64m/CR)	面積 (㎡)				
教室	1	30.0	1,920	普通教室	学級数	24.0	1,536	普通教室	22	1,408	22.0	1,408	-2.0	-128	21.0	1,344	▲1CR個別へ	
	2	2.0	128	個別支援教室	2.0	128	2.0	128	個別支援教室	学級数	2.0	128	2.0	128	0.0	0	5.0	320
	3			特別支援教室	1.0	64	1.0	64	特別支援教室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	1.0	64	
特別教室	4	2.0	128	理科教室	2.0	128	2.0	128	理科教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	5	2.0	128	音楽教室	2.0	128	2.0	128	音楽教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	6	2.0	128	家庭科教室	2.0	128	2.0	128	家庭科教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	7	2.0	128	図画工作教室	2.0	128	2.0	128	図画工作教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	8	2.0	128	図書室	2.0	128	2.0	128	図書室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	9			コンピューター教室	1.0	64	1.0	64			1.0	64	0.0	0	0.0	0	0	▲個別へ
	10			教育相談室	0.5	32	0.5	32	教育相談室・耐火書庫	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
多目的室	11			多目的室(水廻り学習等)	2.0	128	2.0	128	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	12	4.0	256	多目的室(集会・発表等)	2.0	128	2.0	128	多目的室(集会・発表等)	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	13			多目的室(少人数指導)	2.0	128	2.0	128	多目的室(少人数指導)	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	14			多目的室(用途指定なし)	3.0	192	3.0	192	多目的室(学校指定)	3.0	192	3.0	192	0.0	0	3.0	192	
管理棟	15	0.5	32	校長室	0.5	32	0.5	32	校長室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	16	2.0	128	職員室	2.0	128	2.0	128	職員室	2.5	160	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	17	0.5	32	事務室	0.5	32	0.5	32	事務室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	18	1.0	64	保健室	1.0	64	1.0	64	保健室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	1.0	64	
	19			保健相談室	0.5	32	0.5	32	保健相談室・教材教具室②	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	20	1.0	64	放送・スタジオ	0.5	32	0.5	32	放送・スタジオ	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	21			会議室	1.0	64	1.0	64	会議室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	1.0	64	
	22	0.5	32	印刷室	0.5	32	0.5	32	印刷室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	23	0.5	32	職員更衣室	0.5	32	0.5	32	職員更衣室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	24	0.5	32	技術員室・湯沸室	0.5	32	0.5	32	技術員室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	25			和室	0.5	32	0.5	32	休養室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	26	0.5	32	職員・来校者用玄関	0.5	32	0.5	32	職員・来校者用玄関	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	27	0.5	32	教材教具室	1.5	96	1.5	96	教材教具室①	1.5	96	1.5	96	0.0	0	1.5	96	
	28	別棟	26	変電室・教材教具室	1.0	64	1.0	64	変電室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	1.0	64	
	29			倉庫	0.5	32	0.5	32	倉庫	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	30			資料室・耐火書庫	0.5	32	0.5	32			0.5	32	0.0	0	0.5	32		
	31			PTA会議室	0.5	32	0.5	32	PTA会議室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
	32			地域交流室	0.5	32	0.5	32	地域交流室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	0.5	32	
その他	33			児童更衣室	1.0	64	1.0	64	児童更衣室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	0.0	0	▲個別へ
	34	3.0	192	昇降口	2.0	128	2.0	128	昇降口	2.0	128	2.0	128	0.0	0	2.0	128	
	35			キッズ	1.0	64	1.0	64	キッズ	1.0	64	1.0	64	0.0	0	1.0	64	
	36		256	給食室		350		350	給食室		350		350				350	
	37			EV	1基		1基		EV	1基		1基		1基			1基	
	38		480	屋内運動場(アリーナ面積)	720		720		体育館(アリーナ)※	720		720				720		
	39	適宜		プール	適宜		適宜		プール	適宜		適宜		適宜		適宜		
	40	適宜		共用部(トイレ・廊下・階段等)	適宜		適宜		共用部(トイレ・廊下・階段等)	適宜		適宜		適宜		適宜		
		約4,400				約5,200					約5,100		-128		約5,100			

※整備水準は「学習指導要領」や「学校施設整備計画」を参考に決定。
 ※赤字は整備水準の変更箇所(H29→R2)
 ...整備前から増加
 ...整備後から増加
 ▲当初計画から増加
 ...当初計画から減少

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-7 建物計画

■施設の主な特徴

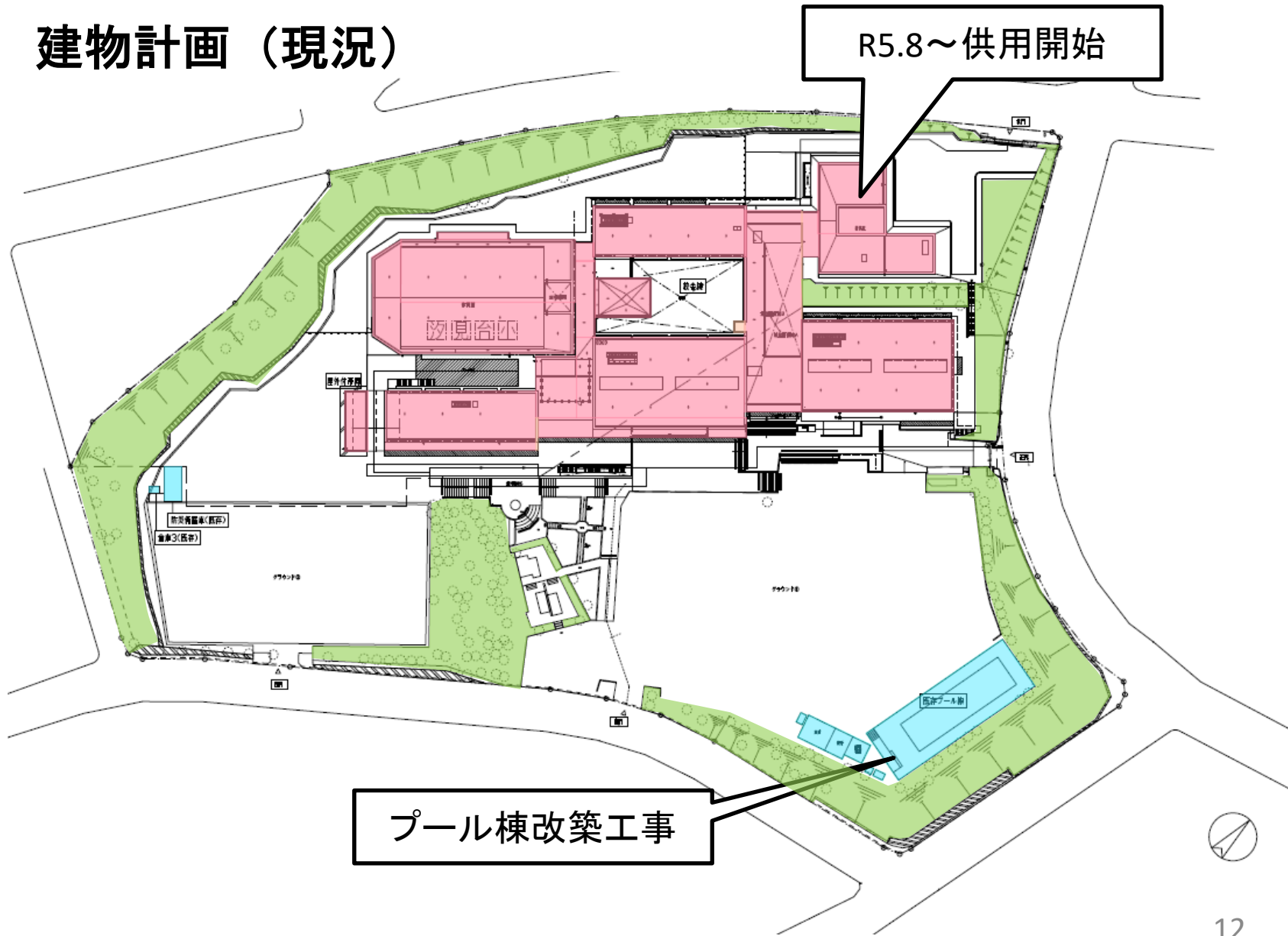
- 1 敷地の高低差を活かし、通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。
- 2 開放感のある中庭や、ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。
- 3 汎用性の高い材料、工法を用いました。
- 4 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。
- 5 環境へ配慮し、太陽光発電設備が設置可能なスペースを設けました。



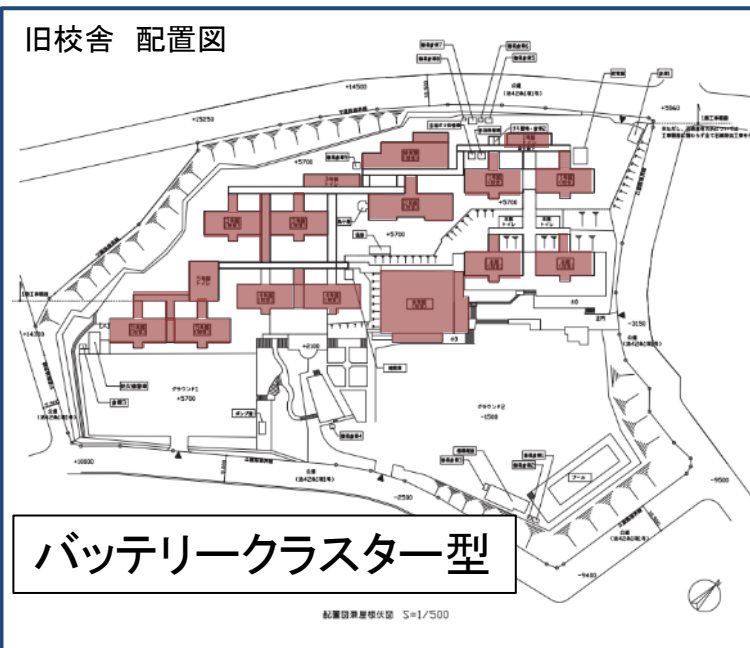
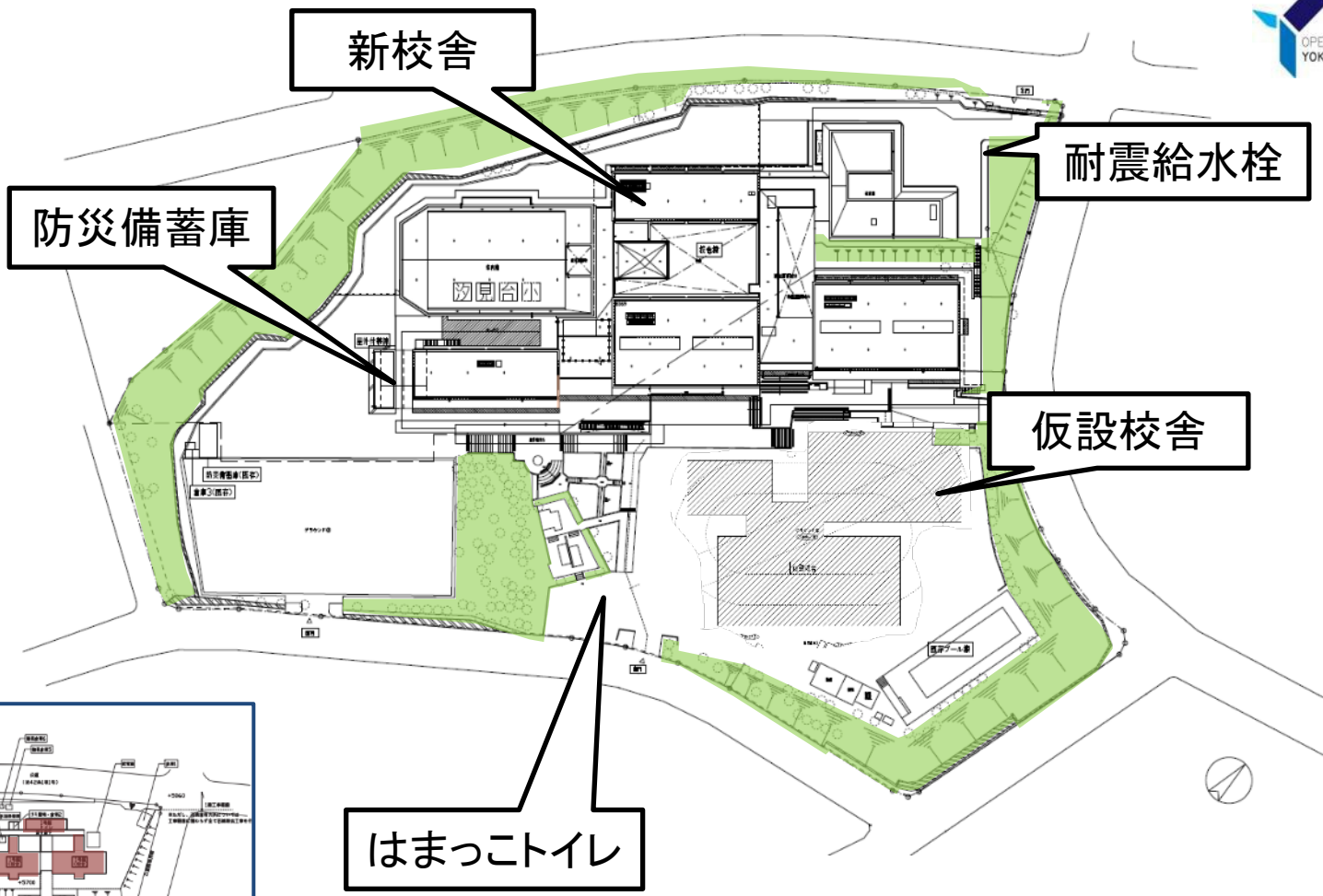
2 事業概要

I 事業の目的・概要

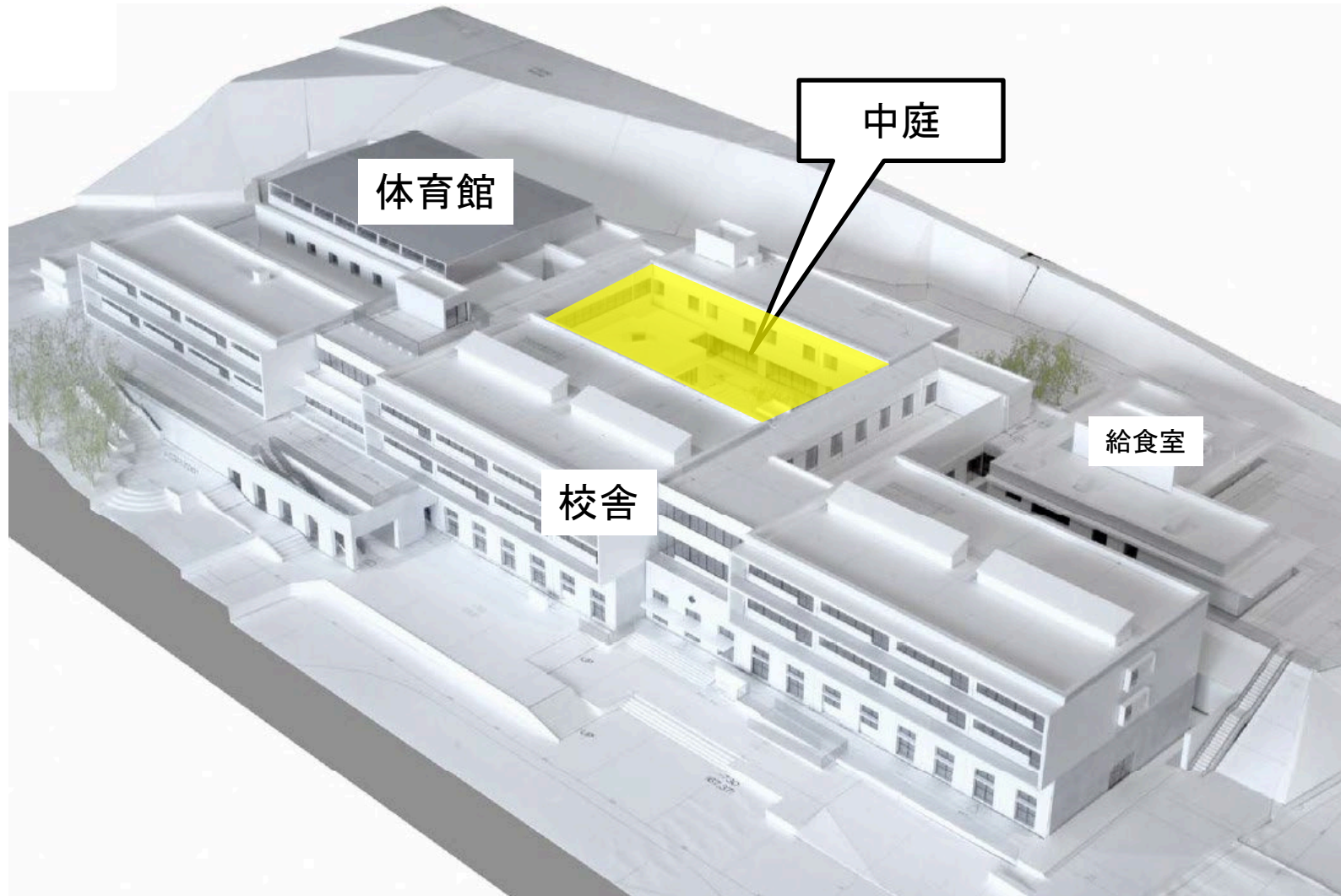
2-8 建物計画（現況）



■ 配置図



4 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。



- 1 敷地の高低差を活かし、通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。

- 1 敷地の高低差を活かし、通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。
- 2 開放感のある中庭や、ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。



格子状の転落防止策により、
窓の開放を可能とした

中庭

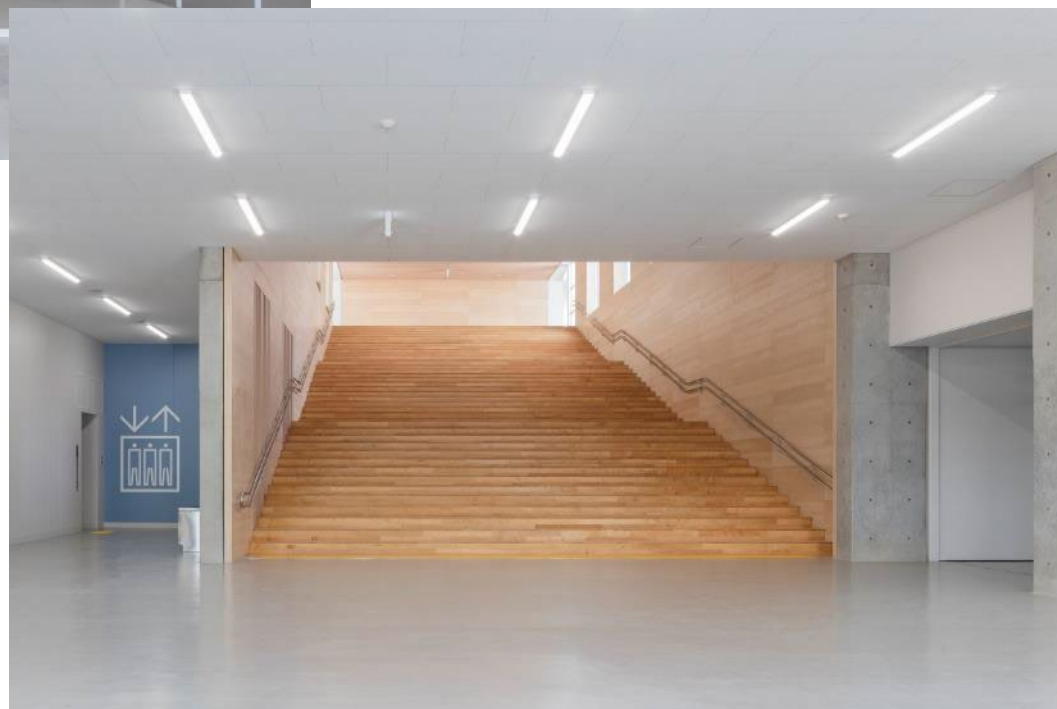


2F 多目的室(集会発表)



2F 昇降口

1F 昇降口 大階段



2 ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。



校舎南側

校舎北側



3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



■ 外部仕上げ

《校舎棟》

屋上：アスファルト防水

断熱材

保護コンクリート

外壁：コンクリート打ち放し

の上、吹付タイル

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ 《普通教室》

- 天井：化粧吸音石膏ボード
- 壁：シナ合板目透し張り
- 巾木：ビニル巾木
- 床：ビニル床タイル

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ

《図書室》

- 天井：化粧吸音石膏ボード
- 壁：シナ合板目透し張り
- 巾木：ビニル巾木
- 床：フローリング

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ

《音楽室》

天井：ロックウール吸音ボード

壁：有孔シナ合板目透し張り

巾木：ビニル巾木

床：ビニル床タイル

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ

《理科室》

天井：ロックウール吸音ボード

壁：有孔シナ合板目透し張り

巾木：ビニル巾木

床：ビニル床タイル

(耐薬品)

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ

《トイレ》

天井：化粧石膏ボード

壁：無石綿フレキシブル
ボード目透し張り

巾木：ビニル床シート巻上げ

床：ビニル床シート

3 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



内部仕上げ

《屋内運動場》

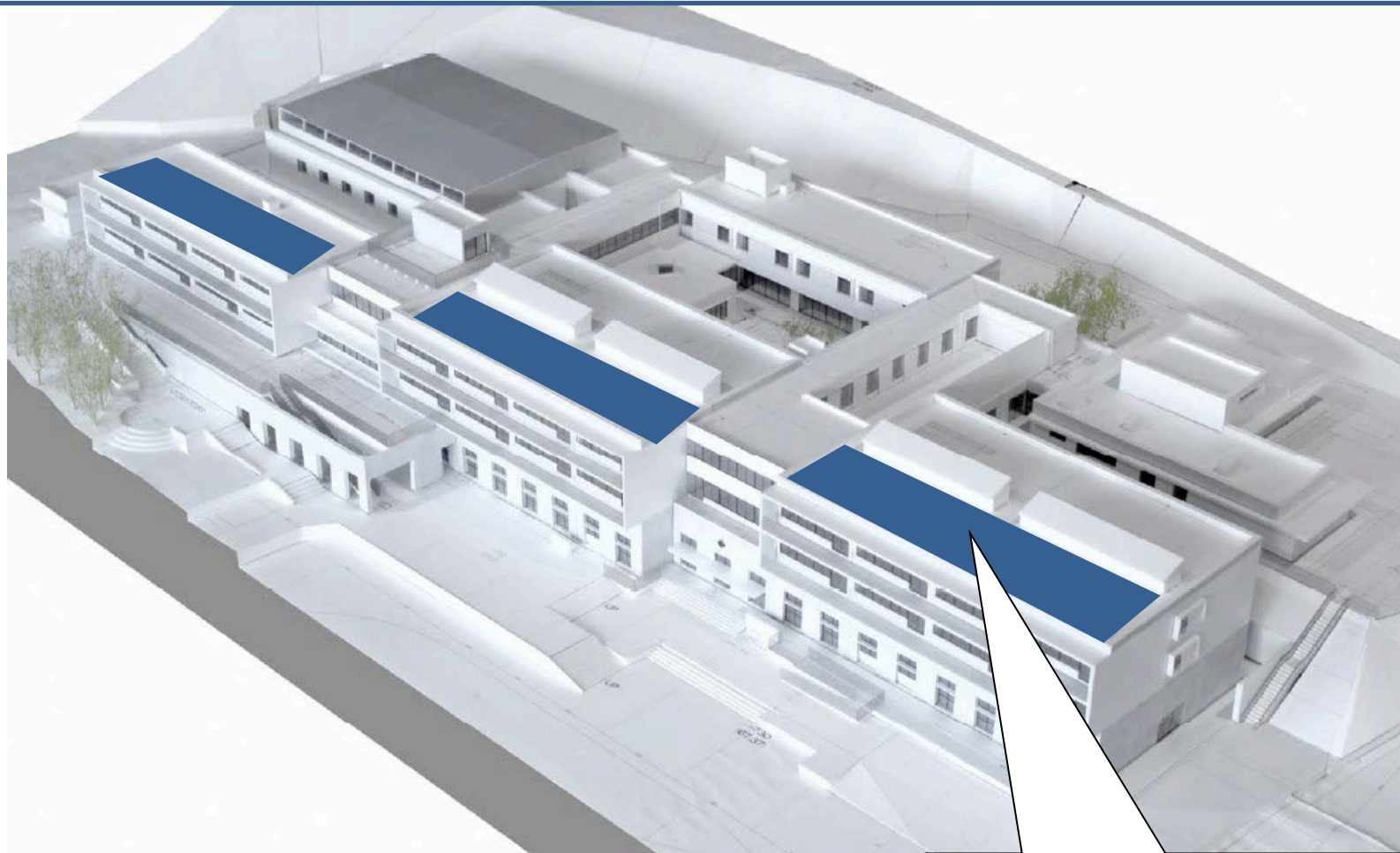
天井：無し

壁：シナ合板目透し張り

巾木：木製巾木

床：フローリング

5 環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置可能としています。



PPA事業用に太陽光発電設備を設置予定

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-10 変更内容

		事前評価(平成30年度)	再評価(令和5年度)
事業期間		H30～H35(R5)	H30～R7
事業費	合計	約47億円(税抜き) (約50.8億円(税込み8%))	約56.3億円(税込み) 消費税率混在(8%、10%)
	国費	5.4億円	8.7億円
	市費	41.6億円	47.6億円

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-10 変更内容

項目	主な理由	内訳
物価 上昇等	工事労務単価上昇、建設資材高騰、 環境性能の向上等による増額	約 5.0億円
消費税 (※1)	事前評価時税抜きであったため計上 消費税率変更	約 4.7億円
委託費 (※1)	事前評価では計上していなかった委 託費(調査、設計・監理 等)を計上	約 4.2億円
工事費削減	面積の減、外構工事の積算精度による合 理化、仮設校舎入札による減	約 -4.6億円
	合計	約 9.3億円

Ⅱ 事業の必要性

1 事業をめぐる社会経済情勢等の変化

事業採択当時、平均築年数 46 年以上経過し、老朽化が進んでいたこと及び、現在の教育活動に必要な整備水準が確保されていなかったため、老朽化対策及び教育環境の改善を図る必要があります。

35人学級の導入による必要教室数の増加、消費税率変更、物価及び労務費高騰により工事費が増額しました。

Ⅱ 事業の必要性

2 事業の投資効果・事業効果等（費用便益分析等）

【定性的事項について】

・教育環境の改善

汐見台小学校は、バッテリークラスター型を採用した7分棟であったため、雨天荒天時の教室移動に支障するなど課題がありました。本事業を実施することで、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。

・防災面について

地域防災拠点としての機能を整備することで、地区の防災機能が強化されます。

敷地内中央に土砂災害警戒区域があり、本事業によりその解消が図られました。

Ⅱ 事業の必要性

3 事業の投資効果・事業効果等（費用便益分析等）

【定量的事項について】

・環境への配慮について

横浜市公共建築物環境配慮基準に準拠することで、環境負荷を軽減されます。

（BEI(※1)=0.63：照明器具のLED化、高効率空調設備の導入、外皮(※2)の断熱化、内装等の木質化等）

※1 BEI：建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に基づき定められた建築物エネルギー消費性能基準で、基準建築物と比較した時の設計建物の一次エネルギー消費量の比率。横浜市の公共建築物における環境配慮基準（H26 制定）では $BEI \leq 0.7$ 。

※2 外皮：建物の外部と内部を隔てる境界で、窓・壁・屋根・床等

Ⅲ 事業の進捗状況

事業の進捗状況

事業進捗率%	<p>令和5年6月 建替え工事完了 (校舎供用 8月開始)</p> <p>令和5年9月～ 仮設校舎解体工事 令和6年1月～ プール棟改築工事 (予定)</p>
93.0%	
用地取得率%	
-	
供用等の状況	
一部供用済	

IV 事業課題・進捗見込

1 事業の課題

- 同一敷地内で学校運営を行いながらの工事のため、校庭整備を工区分割して行う必要があり、事業期間が長期化します。
- 教育環境に対しては、グラウンドを継続利用するなどの工夫や、授業中の工事騒音、屋外教育活動場所の制約が生じることに對する配慮が必要となります。

IV 事業課題・進捗見込

2 進捗見込み

令和6年度 プール棟改築工事、校庭整備

令和7年度 校庭整備後、全面供用(見込)

V コスト縮減項目 等

コスト縮減項目

- ・高低差のある敷地で校舎配置を変更しましたが、できるだけ既存地盤を活かし、造成費用を抑えました。
- ・既存杭の撤去は新設杭に干渉する箇所限定し、杭撤去費用を抑えました。(534本中148本(28%)の引抜を実施)

VI 対応方針

対応方針(案)

計画通り

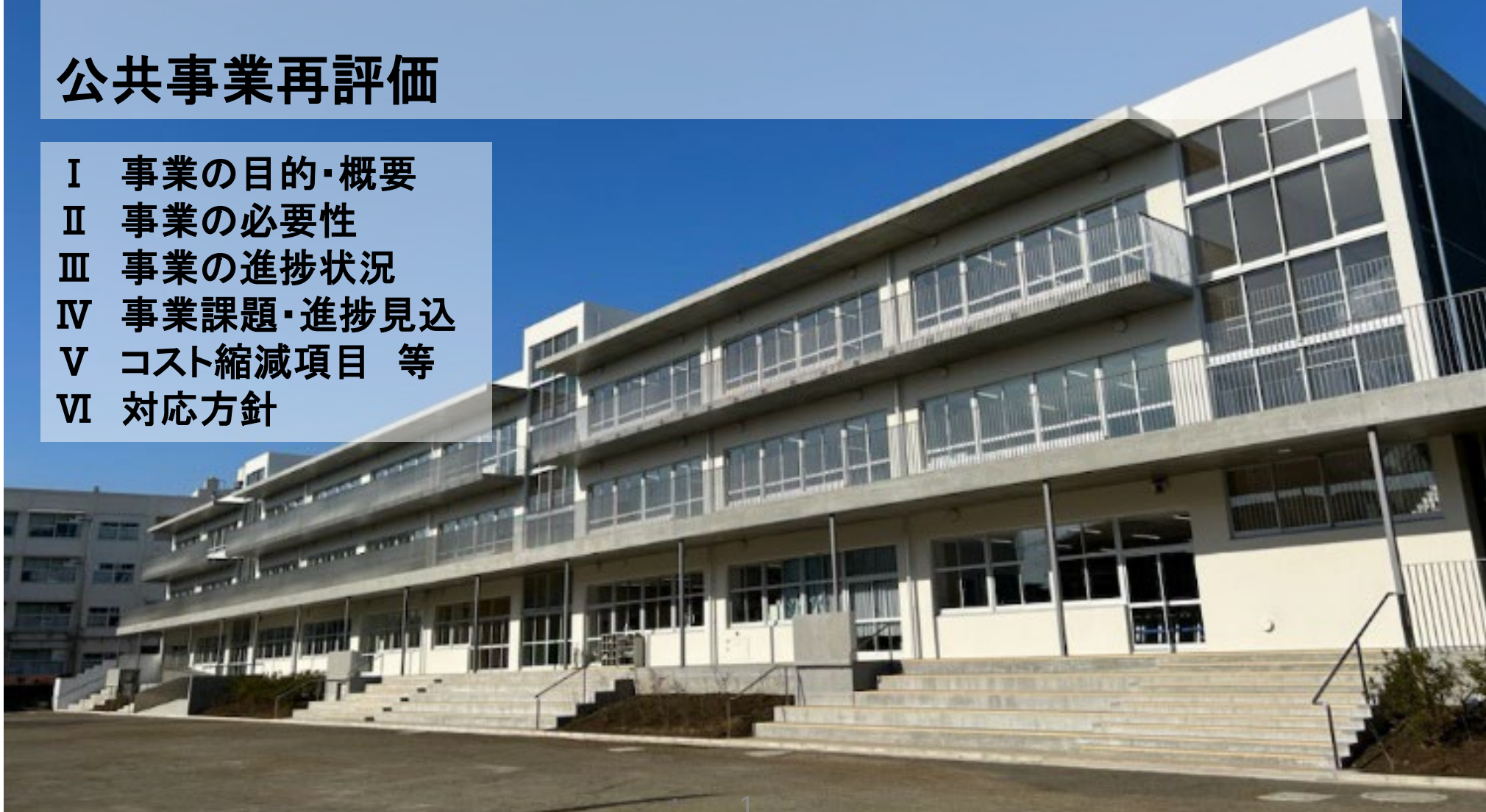
【理由】

現時点で事業を中断することは必要な教育環境及び地域利用施設が未整備となるため、義務教育が適正に執行できない、かつ、地域住民にも必要なサービスの提供ができないこととなります。そのため、事業の継続は必要です。

学校施設の建替（及びコミュニティハウス複合整備） 事業（都岡小学校）

公共事業再評価

- I 事業の目的・概要
- II 事業の必要性
- III 事業の進捗状況
- IV 事業課題・進捗見込
- V コスト縮減項目 等
- VI 対応方針



I 事業の目的・概要

1 事業目的

都岡小学校の校舎等が老朽化しているため、現地に新校舎棟を整備し、老朽化対策及び教育環境の改善を図ります。

併せて、当該地区で未整備のコミュニティハウス(条例設置型)を学校施設との複合施設として整備するとともに、敷地を分割して消防団器具庫を整備します。

建設(増築)年度	昭和38年(1963年)～平成25年(2013年)
最古の棟の築年数	53年
屋内運動場築年数	49年
平均築年数	47.2年

I 事業の目的・概要

2 事業概要

2-1 所在地

横浜市旭区都岡町4番地8



案内図

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-5 整備内容

単位：室

主な室		整備前	計画	
			事前評価時	整備後
教室	普通教室	14	12	13
	個別支援教室	3	3	3
	特別支援教室	0	1	1
	多目的室	1	4	5
	特別教室	5	7	7
コミュニティハウス		0	約300m ²	約300m ²
面積		約5,800m ²	約7,400m ²	約7,300m ²

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-2 児童・学級推計

(事前評価時:平成29年5月1日時点)

年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
児童数	377	383	366	372	366	352	343
学級数	12	12	12	12	12	12	12

整備教室確定年次(R3)までの児童・学級数と同年次の児童・学級数推計
(令和3年5月1日時点)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
児童数	377	372	367	378	375	373	371	377	367	365	340
学級数	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	12

児童・学級数推計(一般学級のみ)(令和5年5月1日時点)

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
児童数	367	381	372	371	359	354	328
学級数	13	13	13	13	12	12	11

2 事業概要

I 事業の目的・概要

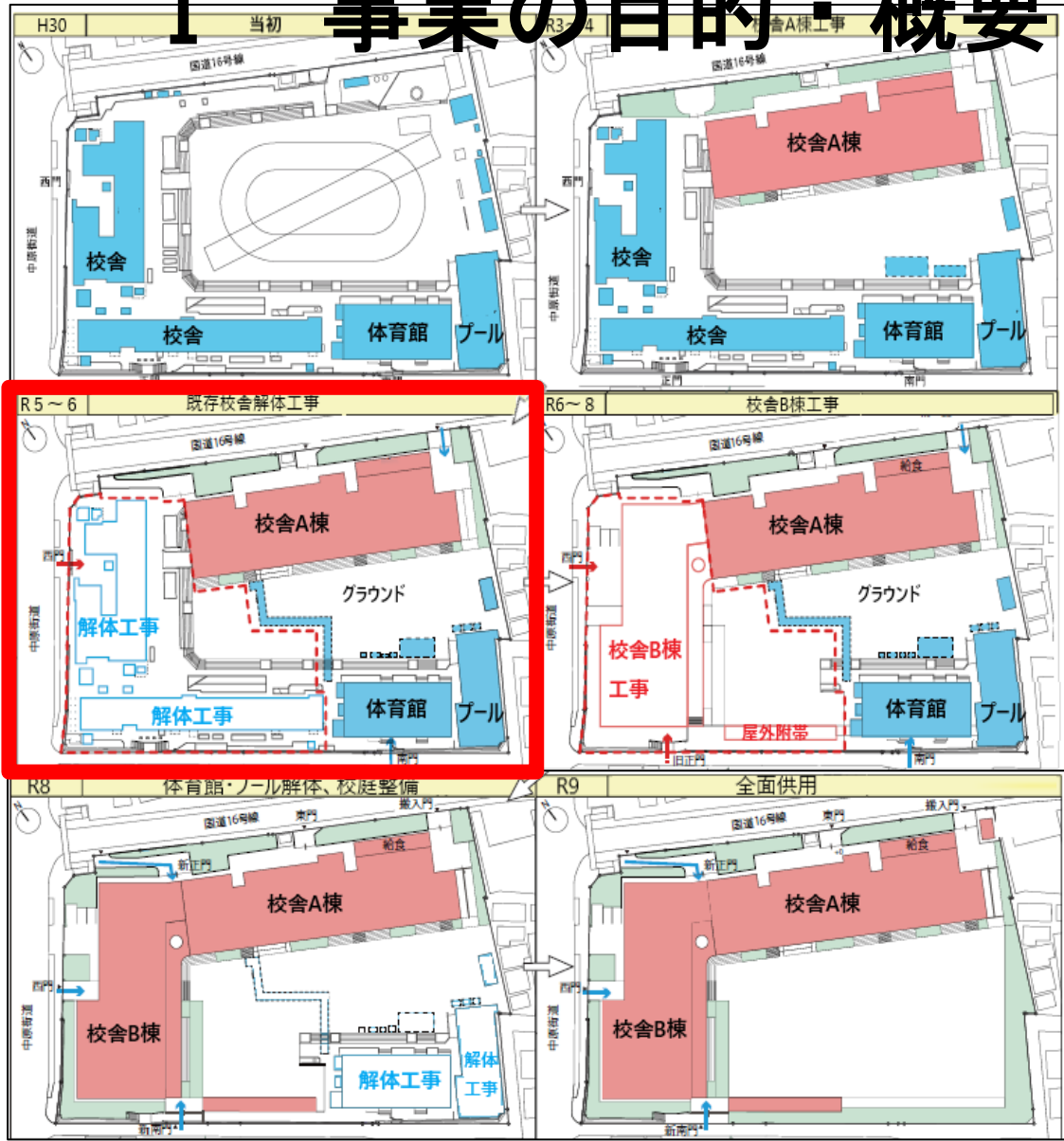
2-3 事業スケジュール

事前評価時(平成30年度)	再評価(令和5年度)
<p>H29～32:基本構想、基本・実施設計</p> <p>H33～37:新築工事、仮設校舎設置、既存校舎解体工事等</p> <p>H35～ :校舎棟一部供用開始</p> <p>H37～ :全面供用開始 (コミュニティハウス含む)</p>	<p>H29～R1:基本構想、基本設計</p> <p>R1～3:実施設計(校舎A棟、校舎解体)</p> <p>R3～4:新築工事(校舎A棟)</p> <p>R5～ :校舎A棟供用開始</p> <p>R5～6:実施設計(校舎B棟、体育館解体)</p> <p>R6～8:新築工事(校舎B棟)</p> <p>R8:体育館・プール解体工事、校庭整備</p> <p>R9～ :全面供用開始 (コミュニティハウス含む)</p>

2 事業概要

2-4 工事工程

I 事業の目的・概要



2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-6 整備内容

別紙1

学校名: 都岡小学校

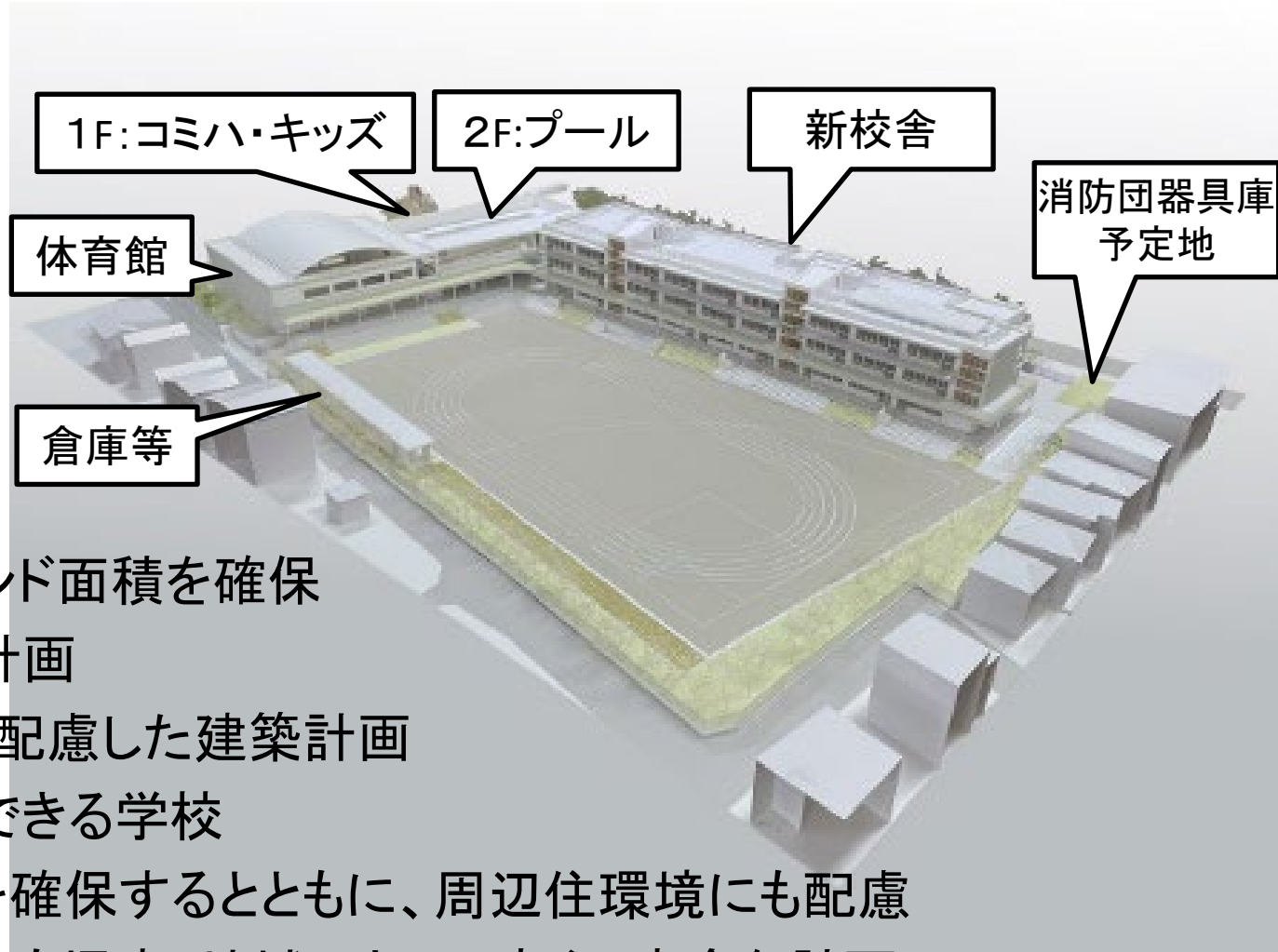
種別	No.	整備前		H25整備水準(小学校12CR)		H30事前評価時		R2整備水準(小学校13CR)		整備後		H30事前評価時と整備後の増減		備考		
		CR数(83㎡/CR)	面積(㎡)	室名	CR数(84㎡/CR)	面積(㎡)	CR数(84㎡/CR)	面積(㎡)	室名	CR数(84㎡/CR)	面積(㎡)	CR数(84㎡/CR)	面積(㎡)		CR数(84㎡/CR)	面積(㎡)
教室	1	14.0	802	普通教室	学級数	12.0	768	普通教室	13	832	13	832	1.0	64		
	2	3.0	189	個別支援教室	2.0	128	3.0	192	個別支援教室	学級数	3.0	192	0.0	0		
	3	0.0	0	特別支援教室	1.0	64	1.0	64	特別支援教室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	
特別教室	4	2.0	128	理科教室	2.0	128	2.0	128	理科教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	5	2.0	128	音楽教室	2.0	128	2.0	128	音楽教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	6	2.0	128	家庭科教室	2.0	128	2.0	128	家庭科教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	7	2.0	128	図画工作教室	2.0	128	2.0	128	図画工作教室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	8	2.0	128	図書室	2.0	128	2.0	128	図書室	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	9	0.0	0	コンピューター教室	1.0	64	1.0	64				1.0	64	0.0	0	
	10	0.0	0	教育相談室	0.5	32	0.5	32	教育相談室・耐火書庫	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	11	0.0	0	多目的室(水廻り学習等)	2.0	128	2.0	128	多目的室(水廻り学習等)	-	-	2.0	128	0.0	0	
多目的室	12	2.0	128	多目的室(集会・発表等)	2.0	128	2.0	128	多目的室(集会・発表等)	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	13	0.0	0	多目的室(少人数指導)	2.0	128	2.0	128	多目的室(少人数指導)	2.0	128	2.0	128	0.0	0	
	14	0.0	0	多目的室(用途指定なし)	2.0	128	2.0	128	多目的室(学校指定)	2.0	128	2.0	128	0.0	0	◎(1CR)
管理棟	15	0.5	31.5	校長室	0.5	32	0.5	32	校長室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	16	1.5	94.5	職員室	1.5	96	1.5	96	職員室	2.0	128	2.0	128	0.5	32	水準の変更による
	17	0.5	31.5	事務室	0.5	32	0.5	32	事務室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	18	1.0	63	保健室	1.0	64	1.0	64	保健室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	
	19	0.5	31.5	保健相談室	0.5	32	0.5	32	保健相談室・教材教具室②	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	20	0.5	31.5	放送・スタジオ室	0.5	32	0.5	32	放送・スタジオ室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	21	1.5	94.5	会議室	1.0	64	0.0	0	会議室	1.0	64	0.0	0	0.0	0	★◎
	22	0.5	31.5	印刷室	0.5	32	0.5	32	印刷室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	23	0.5	31.5	職員更衣室	0.5	32	0.5	32	職員更衣室	0.5	32	0.50	32	0.0	0	
	24	1.0	63	技術員室・湯沸室	0.5	32	0.5	32	技術員室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	25	0.5	31.5	和室	0.5	32	0.0	0	休養室	0.5	32	0.0	0	0.0	0	★◎
	26	0.5	31.5	職員・来校者用玄関	0.5	32	0.5	32	職員・来校者用玄関	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	27	0.3	18.9	教材教具室	1.5	96	1.5	96	教材教具室①	1.5	96	1.5	96	0.0	0	
	28	別棟	13.5	変電室・教材教具室	1.0	64	1.0	64	変電室	1.0	64	1.0	64	0.0	0	
	29	0.5	31.5	倉庫	0.5	32	0.5	32	倉庫	0.5	32	0.5	32	0.0	0	
	30	0.0	0	資料室・耐火書庫	0.5	32	0.5	32				0.0	0	-0.5	-32	▲
	31	0.0	0	PTA会議室	0.5	32	0.5	32	PTA会議室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	◎
32	0.0	0	地域交流室	0.5	32	0.5	32	地域交流室	0.5	32	0.5	32	0.0	0	◎	
その他	33	0.0	0	児童更衣室	1.0	64	1.0	64	児童更衣室	1.0	64	0.0	0	-1.0	-64	▲普通教室へ
	34	2.0	128	昇降口	1.5	96	1.5	96	昇降口	1.5	96	1.5	96	0.0	0	
	35	1.0	63	キッズ	1.0	64	1.0	64	キッズ	1.0	64	1.0	64	0.0	0	◎
	36		226	給食室		350		350	給食室		350		350	0.0	0	
	37		0基	EV		1基		1基	EV		1基		1基		1基	
	38		480	屋内運動場(アリーナ面積)		720		720	体育館(アリーナ)		720		720		720	◎
	39		適宜	プール		適宜		適宜	プール		適宜		適宜		適宜	◎
	40		適宜	共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜		適宜	共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜		適宜		適宜	◎
		約3,400				約4,300				約4,300		0				

※整備水準は「学習指導要領」や「学校施設整備指針」を参考に決定。
 ※赤字は整備水準の変更箇所(H25-R2)
 ...整備前から増加
 ...当初計画から増加
 ▲...当初計画から減少
 ★...コミニティ
 ◎...校舎B棟へ整備予定
 【凡例】

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-7 建物計画



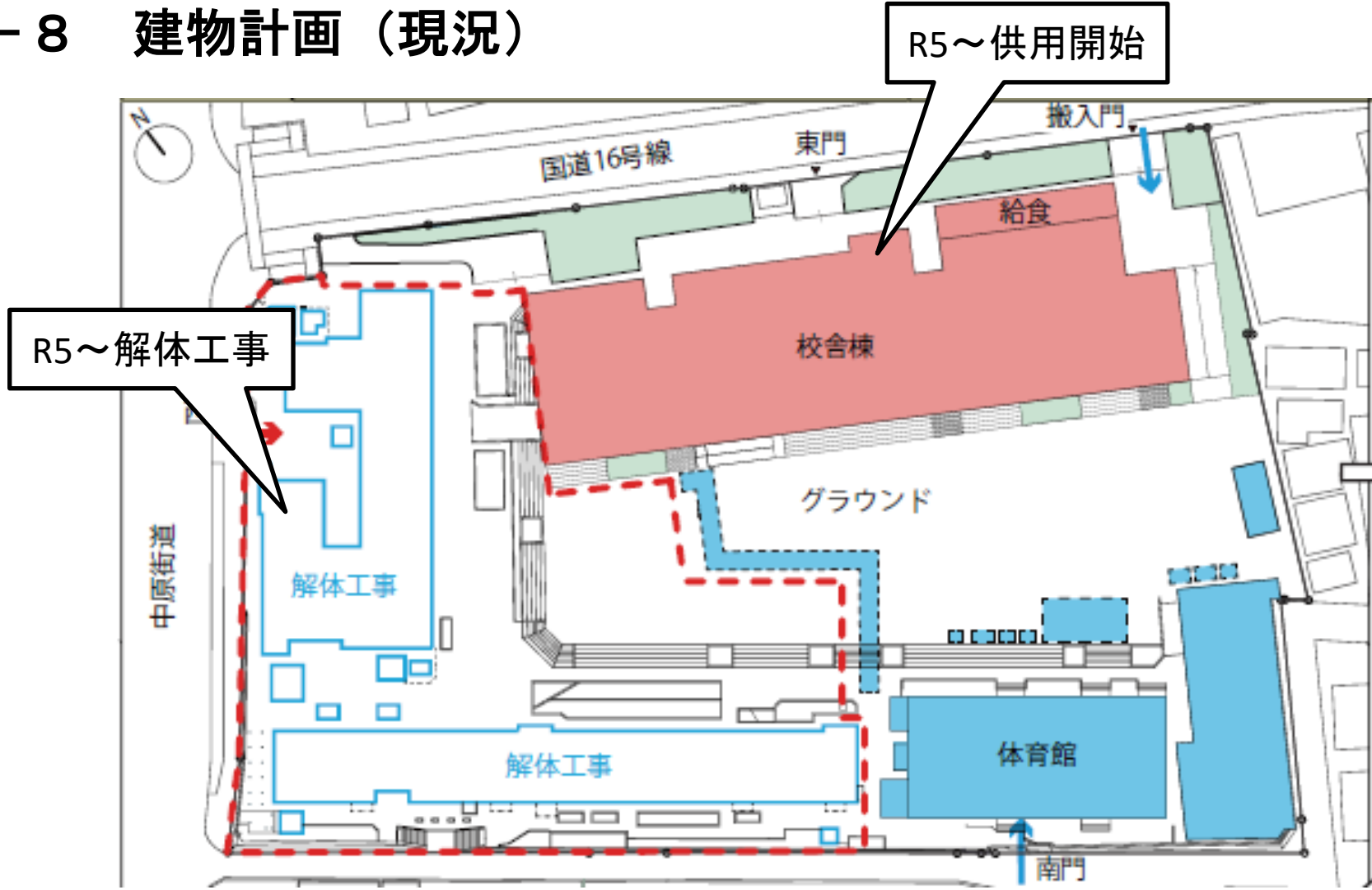
■ 施設の主な特徴

- 1 明快な動線計画
- 2 できる限りグラウンド面積を確保
- 3 コンパクトな平面計画
- 4 地域・地球環境に配慮した建築計画
- 5 地域に開くことができる学校
- 6 快適な学習空間を確保するとともに、周辺住環境にも配慮
- 7 建替工事期間中でも児童・地域にとって安心・安全な計画
- 8 「風の道」を用いてエコで快適な児童の生活環境を実現

2 事業概要

I 事業の目的・概要

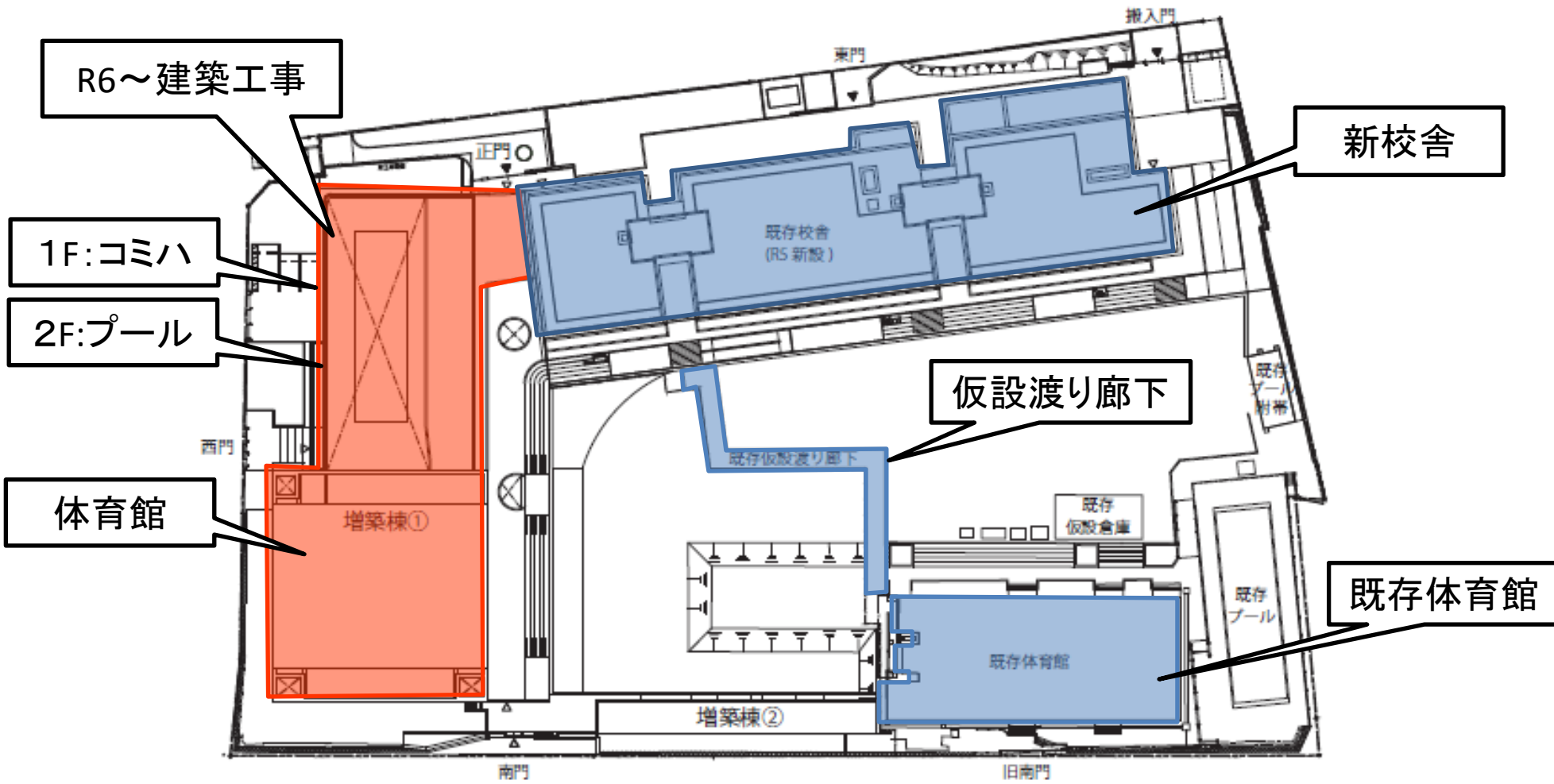
2-8 建物計画（現況）



2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画 (R6~R8)



2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画



■ 外部仕上げ

《校舎棟》

屋上：アスファルト防水
断熱材
保護コンクリート

外壁：防水塗装
一部コンクリート打放

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画



内部仕上げ
 《普通教室》
 天井：ロックウール化粧吸音板
 壁：シナ合板目透し張り
 巾木：ビニル巾木
 床：ビニル床タイル

2-9 建物計画



内部仕上げ

《理科室》

天井：ロックウール化粧吸音板

壁：シナ合板目透し張り

巾木：ビニル巾木

床：ビニル床シート（耐薬品）

2-9 建物計画



内部仕上げ

《家庭科室》

- 天井：ロックウール化粧吸音板
- 壁：シナ合板目透し張り
- 巾木：ビニル巾木
- 床：ビニル床シート

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画



内部仕上げ
 《音楽室・多目的室》
 天井：有孔シナ合板目透し張り
 壁：有孔シナ合板目透し張り
 巾木：木巾木
 床：フローリング

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画



内部仕上げ

《調理室》

- 天井：ロックウール吸音ボード
- 壁：コンクリート打放（塗装仕上）
- 巾木：特殊防滑ビニル床シート立上
- 床：特殊防滑ビニル床シート

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-9 建物計画

太陽光発電設備を屋上に設置可能としています。



PPA事業用に太陽光発電設備
を設置予定

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-10 変更内容

		事前評価(平成30年度)	再評価(令和5年度)
事業期間		H29~H37(R7)	H29~R9
事業費	合計	約32.0億円(税抜き) (約34.6億円(税込み8%))	約48.6億円(税込み) 消費税率混在(8%、10%)
	国費	4.0億円	7.0億円
	市費	28.0億円	41.6億円

2 事業概要

I 事業の目的・概要

2-10 変更内容

項目	主な理由	内訳
物価 上昇等	工事労務単価上昇、建設資材高騰、 環境性能の向上等による増額	約 8.3億円
消費税 (※1)	事前評価時税抜きであったため計上 消費税率変更	約 4.6億円
委託費 (※1)	事前評価では計上していなかった委 託費(調査、設計・監理 等)を計上	約 2.5億円
その他	発注者指定型週休2日制導入	約 2.2億円
工事費削減	仮設計画、造成計画変更による減	約 -1.0億円
	合計	約 16.6億円

Ⅱ 事業の必要性

1 事業をめぐる社会情勢等の変化

事業採択当時、平均築年数 47 年以上経過し、老朽化が進んでいたこと及び、現在の教育活動に必要な整備水準が確保されていなかったため、老朽化対策及び教育環境の改善を図る必要があります。

35人学級の導入による必要教室数の増加、消費税率変更、物価及び労務費高騰が工事費の増額要因となりましたが、整備予定としていた仮設校舎を計画の合理化により削減したこと、多目的室を普通教室化したことなどにより、削減に努めました。

2 事業の投資効果・事業効果等（費用便益分析等）

【定性的事項について】

・教育環境の改善

本事業を実施することで、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することが可能です。

コミュニティハウス未整備地区である当該校区に、新たにコミュニティハウスを合築することにより、地域の自主的な活用や相互の交流が図られます。

・防災面について

地域防災拠点としての機能を整備することで、地区の防災機能が強化されます。

消防団器具庫を整備することで、地域防災力が強化されます。

3 事業の投資効果・事業効果等（費用便益分析等）

【定量的事項について】

・環境への配慮について

横浜市公共建築物環境配慮基準に準拠することで、環境負荷を軽減されます。

（CASBEE横浜Aランク：照明器具のLED化、高効率空調設備の導入、外皮（※）の断熱化、内装等の木質化 等）

※ 外皮：建物の外部と内部を隔てる境界で、窓・壁・屋根・床等

Ⅲ 事業の進捗状況

1 事業の進捗状況

事業進捗率%	令和5年2月 校舎A棟工事完了 令和5年8月～ 既存校舎解体工事
44.2%	
用地取得率%	
-	
供用等の状況	
一部供用済	

IV 事業課題・進捗見込

1 事業の課題

- ・同一敷地内で学校運営を行いながらの工事のため、ローリングとする必要があり、事業期間が長期化します。
- ・教育環境に対しては、体育館の継続利用、グラウンドの工事利用範囲を極力小さくするなどの工夫や、授業時間中の工事騒音、屋外教育活動場所の制約が生じることに対する配慮が必要となります。

IV 事業課題・進捗見込

2 進捗見込み

令和6年度 校舎B棟建設着手

令和8年度 既存体育館・プール解体工事、校庭整備工事

令和9年度 全面供用開始見込

V コスト縮減項目 等

1 コスト縮減項目

- ・現地建替えを行うにあたり、継続的な学校運営を可能とするため建設と解体を繰り返すローリング方式とし、仮設校舎を不要としました。
- ・小学校とコミュニティハウスの会議室を共有化し、施設規模を効率化しました。
- ・高低差のある敷地で校舎配置を変更しましたが、できるだけ既存地盤を活かし、造成費用を抑えました。
- ・既存杭の撤去は新設杭に干渉する箇所限定し、杭撤去費用を抑える予定です。
(R5～6年度の実施設設計の中で精査中です。)

1 対応方針(案)

計画通り

【理由】

教育環境の改善を行うとともに、地域防災拠点としての機能維持や、地域に必要とされるコミュニティハウスの整備及び敷地を分割し消防団器具庫の整備を行います。

現時点で事業を中断することは必要な教育環境及び地域利用施設が未整備となるため、義務教育が適正に執行できない、かつ、地域住民にも必要なサービスの提供ができないこととなります。そのため、事業の継続は必要です。